



平成 22 年 10 月 5 日

各 位

会 社 名 I Tホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡本 晋
(コード番号 3626 東証第 1 部)
問合せ先 グループ広報部長 佐久間 巖
(Tel. 03-6738-7557)

連結子会社 (T I S、ソラン、ユーフィット) の合併に関する基本合意について

当社は、平成 22 年 10 月 5 日開催の取締役会において、T I S株式会社 (以下、「T I S」)、ソラン株式会社 (以下、「ソラン」) 及び株式会社ユーフィット (以下、「ユーフィット」) の 3 社を合併するグループフォーメーション再編の方針を決議し、合併に関する基本合意書を締結しましたので、下記のとおりお知らせします。

なお、各子会社も本日開催の取締役会において、本件について決議した上で基本合意書を締結しており、関係する 4 社の経営陣の見解は一致しています。

記

1. 合併の目的

情報サービス業界は、クラウド・コンピューティングという言葉に象徴されるように、お客様のシステム投資への関心が情報システムの整備から、アウトソーシングや XaaS を活用した情報通信システムの効率的な利用・運用へと変化しており、基盤技術の整備やインフラ設備への投資など、業界各社は早急な対応を求められています。更に、景気の先行きが不透明なこともあり、IT 投資にかかわる需要の減少傾向も重なり、海外企業との競争も相まって価格の低下に拍車がかかるなど、厳しい環境にあります。

当社は設立以来、事業会社の自立性を尊重した経営を行ってまいりましたが、経営環境の質的な変化と、その変化のスピードが一層高まることにあわせ、子会社マネジメント体制の第二段階として、その手法を変革することとしました。当社は予てより、特に不透明な経営環境下においては、企業規模の拡大が、短期的には企業活動におけるリスク分散と相互補完による業績の安定化に重要であり、かつ、中期的にも企業体力の強化及び企業価値拡大への貢献が大きいと考えてきました。グループ子会社の中でも、TIS、ソラン及びユーフィットの 3 社は、国内最大級のクレジットカードシステム開発案件を、共同でつくりあげた実績による企業風土の親和性をベースに、3 社が相互に保有する技術・ノウハウの効率的な活用により、規模拡大のメリットを享受できるとの判断に至りました。

そのため、平成 23 年 4 月 1 日に、3 社が合併することなどを定めた基本合意書を本日締結しました。なお、新会社は合併理念として、顧客第一主義と一体感のある経営を掲げており、出身会社にこだわらず、組織、人事体制を適材適所の考え方で構築、運営していきます。事業面では、3 社の顧客基盤の共有や、重複コストの削減によるコスト改革、成長市場である中国での IT マーケットに先行的な投資を積極的に行うことを計画しています。

2. 子会社合併の要旨

(1) 合併の日程

平成 22 年 10 月 5 日

各社 取締役会決議、合併に関する基本合意書締結

平成 23 年 4 月 1 日 (予定)

合併期日 (効力発生日)

各社における合併決議取締役会、合併承認臨時株主総会などの日程については、現在未定のため、決定次第開示します。

(2) 合併の方式など

合併の方式などについても、合併委員会にて検討の上、決定することとなっています。決定次第開示します。

3. 新会社について

新会社の詳細は合併委員会にて検討の上、決定することとなっています。決定次第開示します。

4. 今期の見通し

本合併は当社連結子会社間の合併になる予定であり、当社の業績に与える影響は軽微です。

以 上